

会 議 録

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和7年度 第1回審議会
開催日時	令和7年7月22日（火） 午後2時00分から午後2時51分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 橋本孝二委員 深谷幸信委員 溝口政策課係長 東村山市 下沢ゆきお委員 村山じゅん子委員（欠席） 濱崎企画政策課長 清瀬市 友野和子委員 ふせ由女委員 吉澤未来創造課主査 東久留米市 篠宮よしのり委員 阿部利恵子委員 佐藤企画調整課長 西東京市 長井秀和委員 千間いずみ委員 門倉企画政策課長 事務局 渡部尚 東村山市長（協議会会長） 東村事務局長 高田次長 藤山主査
議 題	(1) 審議会会長、副会長の選出について (2) 令6年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について
報告事項	(1) 令和6年度事業報告書について (2) 令和7年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程について (3) 令和7年度各専門委員会への付託事項について (4) 令和7年度多摩六都フェアの日程等について (5) ソーシャルメディアを活用した情報発信について (6) 次期多摩六都広域連携プラン（第五次多摩北部都市広域行政圏計画） （仮称）の（素案）について
会議資料	資料1 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会規定 資料2 令和6年度多摩北部都市広域行政圏協議会決算書 資料3 令和6年度専門委員会の活動報告及び評価について 資料4 令和7年度多摩北部都市広域協議会事務日程について 資料5 令和7年度専門委員会の付託事項について 資料6 令和7年度多摩六都フェアの日程等 資料7 ソーシャルメディアを活用した情報発信について 資料8 次期多摩六都広域連携プラン（第五次多摩北部都市広域行政圏計画） （仮称）の（素案）について
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会 議 内 容	
1 開会	多摩北部都市広域行政圏協議会 事務局長
2 挨拶	多摩北部都市広域行政圏協議会会長

3 議題

(1) 審議会会長、副会長の選出について

●事務局から、資料1に基づき、第20期審議会の会長及び副会長を委員の互選により選出すること。また平成25年度第2回協議会及び令和6年度第1回で決定した役員表に基づき選出することを提案。

—異議なし

●事務局から、第20期審議会会長には、清瀬市議会から推薦の友野和子委員に、副会長には、東久留米市議会から推薦の篠宮よしのり委員にお願いする。

—異議なく、審議会会長は、清瀬市 友野和子委員。審議会副会長は、東久留米市 篠宮よしのり委員に決定した。

(2) 令和6年度多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出決算について

●事務局から、資料2により説明。

・歳入決算額22,024,773円、歳出決算額15,313,332円。差引残額4,929,441円(翌年度への繰越額)。

・決算監査は5/20(火)に実施。監事は小平市小林市長。

—質疑なし

4 報告事項

(1) 令和6年度 事業報告書について

●事務局から、資料2及び令和6年度事業報告書により説明。

・令和6年度より、情報推進専門委員会が実務者連絡会になり、連絡会としての報告を掲載。また、広域行政圏計画専門委員会の報告を掲載。

・令和6年度専門委員会の活動報告および評価の最終評価を確認。

—質疑なし

(2) 令和6年度多摩北部都市広域行政圏協議会事務日程、及び

(4) 令和6年度多摩六都フェアの日程等について

●事務局から、資料4、資料6により説明

—質疑なし

(3) 令和6年度 専門委員会への付託事項について

●事務局から、資料5により説明

・本年4月に各専門委員会の委員長（東村山市）あてに付託し、すでに活動を開始している。産業・観光振興委員会では昨年度から、多摩島しょ広域連携活動助成金を活用し、多摩六都の魅力発掘発信事業として今年度と来年度で動画制作に取り組んでいく。広域行政圏計画専門委員会では次期プラン素案について確認。

—質疑なし

(5) ソーシャルメディアを活用した情報発信について

●事務局から、資料7により説明

・「見てほしい情報」と「画で見せたい情報」を届ける手段としてX、Instagram、YouTubeのソーシャルメディアを活用。

・運用ポリシーについては、最終案を取りまとめている最中。

●質疑応答

(千間委員)

① XとかInstagramの運用は職員、それとも外注なのか。

② ショート動画、短い分以内のショート動画の縦型動画の導入などは検討しているのか。

(事務局)

① 運用は職員でやる。

② 縦型のショート動画については次年度の動画制作に向け、検討する。

(6) 次期多摩六都広域連携プラン（第五次多摩北部都市広域行政圏計画）（仮称）の（素案）について

●事務局から、資料8により説明

- ・次期プランについては、現プランの構成を引き継ぎ大きな変更はなし。
- ・圏域の将来像と取組のテーマ6つ、SDGsの17のゴールとの関連を記載、具体的な取組内容をテーマごとに記載。
- ・テーマ1、都市農地に関する記載は、農地の維持・保全と都市農業の保全や活用ということで、取組を整理。
- ・テーマ2、住環境に関する取組として、空家や大規模団地の活性化に関する取組の研究等の記載があったが、空家に関しては、5市でも空家の状況の差異が大きいことや大規模団地の活性化はハード面だけではなくソフト面も必要であり、ここに記載するには難しいということから、計画から落とす方向。
- ・11月にパブリックコメント実施。パブリックコメントを反映させた計画案を協議会に提出、また審議会に諮問答申をして、3月に公表を予定。

●質疑応答

(ふせ委員)

- ・広域のなかで団地の存在は欠かせないもの。除外するのは理解できない。もう少し説明が欲しい。

(事務局)

- ・大規模団地は都市基盤という観点で計画に載せている。圏域内の団地が古くなっており、再生計画といった話が出ているところもあるが、団地の再生はここで見ている都市基盤としてのハード面だけでは書ききれない。ソフトもとなると計画として載せることは難しいので、見直しに当たり一旦落とすことにした。ただ、協議会の中で関心事項ではあるので今後幹事会等での情報交換を進めていく。

(ふせ委員)

- ・公営住宅等の自治組織はしっかりしている。注目してほしい。

(長井委員)

- ・今後都市計画道路が整備された場合、コミュニティバス等の運行ルート等が変更また運行ルートの延伸予定の考えはあるのか。また考えられていれば説明の場はあるのか。

(事務局)

- ・道路整備の進捗におけるコミュニティバスの運行ルートについて、公共交通担当実務者連絡会があり情報交換をしている。今のところそういった話まで出てきていない。次の実務者連絡会でご意見があったことをお伝えする。

(長井委員)

- ・西東京市内でも練馬のコミュニティバスが地域を超えて運行している。市の圏域を越えて円滑に進められたら交通空白地域の解消に繋がっていくと考える。

(ふせ委員)

- ・清瀬市ではバスの運転手不足によって運行便が少なくなっている。他の地域ではどうなっているのか。

(事務局)

- ・公共交通担当実務者連絡会においても問題として提起されている。清瀬市だけではなく他の市でも乗る人が少ない休日や年末年始に運行をしないというような相談を受けて、対応したところもあると聞いている。5市全体として運転手不足というところは課題になっている。

(阿部委員)

- ・第四次多摩北部都市広域行政圏計画の中で広域連携という視点で効果があったと評価できるものはあったのか。

(事務局)

- ・現計画の評価というところまでまだ出ていない。現在各市で集約している中では、例えば都市建設専門委員会では都市計画道路について東京都で第5次優先整備の計画について情報を交

換したり、緑化専門委員会では指定管理者について情報共有をしながら事業を進めることができたと聞いている。

(ふせ委員)

- ・SDGsの関係で都市農地について減農薬について課題が出ているか。

(事務局)

- ・都市農地についてそこまで突っ込んだ話は出てきていない。

(ふせ委員)

- ・地場野菜が学校給食に使われているので、子供たちの給食には安心して安全なものを供給していただきたい。保護者から声は出ていないのか。

(事務局)

- ・事務局までは情報は来ていない。

(ふせ委員)

- ・都市農業は周囲に住宅地が多いので、そういった観点からも農薬は少なくしていく方法を取り上げられていただければと思っている。

(下沢委員)

- ・都市計画道路の整備が不十分であると感じる。第5次計画の策定中ということで情報を事前にもらい都に働きかけができないか。どこまで審議会から提言できるか。

(事務局)

- ・各市には東京都から相談があると思うが、詳細は口外できないものがあり、事務局でも詳しく把握できていない。審議会からご意見があったことを都市建設専門委員会にお伝えする。

5 その他
一 質疑なし

6 閉会